

第47回山形県総合バドミントン選手権大会

競技・審判上の注意

<競技上の注意>

- 1 本大会は、(公財)日本バドミントン協会競技規則、同運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- 2 受付は、8時30分より、体育館入口で行います。参加者は、参加料の納入をお願いします。また、プログラムを配布します。
- 3 開会式前、8時45分～9時05分までコートで練習を行うことができます。開会式は、9時10分より行います。選手はアリーナに集合願います。
- 4 競技は9時15分より開始します。
- 5 競技方法は、全てトーナメントにより実施します。
- 6 得点は、全て21点3ゲームマッチで行います。
- 7 試合が連続する場合のインターバルは10分間とします。
- 8 コーチ席は、両コートサイドに1席ずつ用意します。各サイド1名までの着席を認めます。なお、着席者の服装は、公認審判員規定第5条第12項(8)に則り、マッチにふさわしい服装とし、上衣はユニフォーム、襟付きシャツ、ポロシャツ、ブラウス、下衣は長ズボン(七分丈、短パンは不可)またはスカートとしてください。また、スリッパ、サンダルは禁止とします。
- 9 使用球は、1種検定合格球とし、持ち寄りとします。ただし、各種目の準決勝以上は主催者側で準備します。
- 10 マッチで色付き着衣を使用する場合は、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とします。また、上衣の背面には、チーム名(県実業団連盟に登録チームのみ)、学校名、それ以外については地区名を表示してください。なお、背面布を使用する場合は、上衣に4点で留めてください。
- 11 コートサイドには、カゴやドリンクケースを設置しません。給水のためのボトル(ふたつき)、タオル、着替え用ウェア、氷のう等は、すべてラケットバック等に入れ、コートサイドの主審側に置いてください。チェンジエンスの際、そのまま持って移動してください。
- 12 空きコートでの練習は禁止します。
- 13 選手はコールされたら速やかにコートに入ってください。コールされてから5分経過しても入らない場合は、失格を宣する場合もあります。
- 14 マッチ中の怪我や病気による中断は、原則としてレフェリーが判断し、相手選手への中断時間を主審に告げます。ただし、鼻血等の出血・嘔吐をした場合は、直ちに中断し、レフェリーの判断により医務役員が対応します。なお、当該選手(又は監督)からの棄権申告については、主審が受理します。

<審判上の注意>

1. 各試合のラインジャッジは、原則として当該選手の所属地区より1名の協力をお願いします。ただし、協力できるラインジャッジがない場合は、本部まで申し出てください。
2. 原則として、敗者審判制とします。敗者は、当該コートの次の試合について、複は、主審・得点係、単は、主審をお願いします。オーバールールは公認審判員が主審の際に適用します。トーナメント戦の準決勝より、公認審判員が主審を行います。
3. サービスジャッジは配置しません。なお、主審の目安となるよう、ポールの床面から115cmのところに目印を貼り付けます。

<その他>

1. 棄権は、申込み責任者から県バドミントン協会競技委員長あてにメールで連絡をお願いします。参加料は納付願います。(競技委員長 油井: thankyouty7@gmail.com)
2. 試合結果の速報は、Twitter「山形県バドミントン協会競技委員会」で行う予定です。(右図QRコード参照)

